

2021年  
7~8月

### 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっていきます。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出さうではありませんか。JIA-SDG建築フォーラムに引き続いて、この夏「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様のご力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正浩

第3回  
なぜ住宅への太陽光発電義務づけが重要なのか  
京都府条例から学ぶ

2021年7月22日(木・祝日) 16:00-18:00

諸宮 徹 Toru Morotomi  
京都大学大学院工学研究科 地球環境工学専攻 地球環境工学専攻 教授

1993年 同志社大学経済学部卒業  
1998年 京都大学大学院工学研究科 建築学専攻 博士課程修了  
1998年 早稲田大学工学部建築学専攻 助教授  
2002年 京都大学大学院工学研究科 助教授  
2006年 同公明政策大学院 助教授  
2008年 同大学院工学研究科 准教授  
2010年 現職

JIA会員アンケート等で最も話題の大きい「太陽光発電 設置義務化」、「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等」のあり方検討会 委員の諸宮氏は、定量的な研究成果により住宅への設置義務化の必要性を主張されてきました。併せて、「消費者が環境性能を評価する必要があるポイント」PFAI(日本消費者連盟主催「省エネモビル」)、「分型エネルギーシステムを情報通信で結んでコミュニティエネルギー・消費の最適化を図るマネージメントシステム」等の様々な発表を行ってまいりました。其の意を伺うべく、お話を伺う機会を設け、議論を深めたいと思います。再々本報後援者様のご意見を伺いたくは京都府条例のお話も伺うことができます。

会場：オンライン/ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)/JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：C P D認定プログラム(2単位)

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください  
申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※CPD単位付に必要なCPDを申込フォームに必ず記入してください

申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※注意事項※  
・ミーティング参加名は申込書としてメールにて下さい。  
例) 山田氏(〒150-0001) 〇〇〇〇  
・セミナーは録音しますので予めご了承下さい。  
・参加費ののり、録音は固くお断り致します。  
・録音でのご参加はご遠慮下さい。主催者の当日の都合はできません。  
・お申込み後、後日返信をさせていただきます。  
・※録音：8/17(木)20時以降  
当日17:30~接続できます。直前に申し込まないよう早めの接続をお願いします。

### 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっていきます。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出さうではありませんか。JIA-SDG建築フォーラムに引き続いて、この夏「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様のご力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正浩

第2回  
多様な方法論で実現する環境建築  
脱炭素社会を目指して

2021年7月15日(木) 18:00-20:00

山田 貴宏 Takahiro Yamada  
一級建築士事務所ビオリアル建築デザイン代表

1990年 早稲田大学工学部建築学専攻卒業  
1992年 同 都市環境工学専攻 修了  
1992年 清水建設株式会社  
1999年 長川設計アソシエーツ  
2009年 ビオリアル建築デザイン代表

山田氏は「重山長屋」で第17回(2016年度)JIA環境建築実住住宅部門優秀賞を受賞されました。伝統的構造/土質の長屋住宅を住居加増で作り、都市空間の再編における長期的暮らしの提案を行うと発表されました。発表後、山田氏は、環境建築実住住宅部門優秀賞を受賞すると共に、設計活動を通じて建築の生産エネルギー、生産CO2排出量の削減に留意。また住宅に環境負荷の少ないライフスタイルを提案。コミュニティのある暮らしの提案を行ってまいりました。その経験などからアプローチする山田氏の多様な方法論について、脱炭素社会に向けた行動について議論を深めたいと思います。

会場：オンライン/ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)/JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：C P D認定プログラム(2単位)

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください  
申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※CPD単位付に必要なCPDを申込フォームに必ず記入してください

申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※注意事項※  
・ミーティング参加名は申込書としてメールにて下さい。  
例) 山田氏(〒150-0001) 〇〇〇〇  
・セミナーは録音しますので予めご了承下さい。  
・参加費ののり、録音は固くお断り致します。  
・録音でのご参加はご遠慮下さい。主催者の当日の都合はできません。  
・お申込み後、後日返信をさせていただきます。  
・※録音：8/17(木)20時以降  
当日17:30~接続できます。直前に申し込まないよう早めの接続をお願いします。

### 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっていきます。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出さうではありませんか。JIA-SDG建築フォーラムに引き続いて、この夏「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様のご力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正浩

第1回  
今は2021年夏  
立ち止まって考えるのが最後  
さあ未来に向けて

2021年7月8日(木) 18:00-20:00

前 真之 Masayuki Mae  
東京大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授

1998年 東京大学工学部建築学専攻卒業  
2003年 東京大学大学院工学研究科 博士課程修了  
2004年 独立行政法人建築研究所 研究員  
2004年 東京大学大学院 専攻助教授  
2008年 現職

前氏は2/24に河野太郎閣僚改革担当大臣率いる第5回再生エネルギーに関する懇談会の総括報告スクリプトスクリプトにおいて、科学的分析ととも、行政・法制度の現状、多様な建築関係者の意識の調査を踏まえて、具体的で明快な主張を展開されました。4~6月に国交省・経産省・環境省合同の検討会が開催され、6月には政府が「地域脱炭素マップ」を公表し、2050年脱炭素の目標達成に向け、現在も多様な議論が展開されています。緊急連続セミナーの初回は前氏の提案をじっくりと長い脱炭素に向けた行動について議論を深めたいと思います。

会場：オンライン/ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)/JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：C P D認定プログラム(2単位)

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください  
申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※CPD単位付に必要なCPDを申込フォームに必ず記入してください

申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※注意事項※  
・ミーティング参加名は申込書としてメールにて下さい。  
例) 山田氏(〒150-0001) 〇〇〇〇  
・セミナーは録音しますので予めご了承下さい。  
・参加費ののり、録音は固くお断り致します。  
・録音でのご参加はご遠慮下さい。主催者の当日の都合はできません。  
・お申込み後、後日返信をさせていただきます。  
・※録音：8/17(木)20時以降  
当日17:30~接続できます。直前に申し込まないよう早めの接続をお願いします。

The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

### 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっていきます。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出さうではありませんか。JIA-SDG建築フォーラムに引き続いて、この夏「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様のご力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正浩

第4回  
2050年カーボンニュートラルに向けて  
地域からの発信/意欲的な取組や事例を通して

2021年8月12日(木) 18:00-20:00

竹内 昌義 Masayoshi Takeuchi  
東北建築大学工学部建築学専攻 准教授

1988年 東北大学工学部建築学専攻卒業  
2001年 現職 建築学専攻 2008年~現在職  
建築学(国際コンパス) 他  
作品：「新川川」(2010)、東北のエネルギー  
作品：2018年「House M」JIA環境建築実住住宅  
部門優秀賞受賞

新井 優 Masaru Arai  
新井建築設計事務所 代表取締役 建築士

1976年 阪神大学建築学専攻卒業  
1980年 現職 建築士  
1996年 新井建築設計事務所 設立  
2001年 「FAC」東北コンパスJIA  
環境建築実住住宅部門優秀賞受賞  
2020年 新井建築設計事務所  
校長 建築士事務所 代表取締役

国交省、経産省、環境省の3省より設置された「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策検討会」の有識者委員としての御意見を伺っています。竹内氏は自身の得意分野についてJIA会員に発表すると、その発表と同時期に本セミナーの企画を進められました。本年4月から開催された上記検討会「国際コンパス」他、作品「新川川」(2010)、東北のエネルギー作品：2018年「House M」JIA環境建築実住住宅部門優秀賞受賞

2021年「FAC」東北コンパスJIA環境建築実住住宅部門優秀賞受賞

2020年 新井建築設計事務所 校長 建築士事務所 代表取締役

国交省、経産省、環境省の3省より設置された「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策検討会」の有識者委員としての御意見を伺っています。竹内氏は自身の得意分野についてJIA会員に発表すると、その発表と同時期に本セミナーの企画を進められました。本年4月から開催された上記検討会「国際コンパス」他、作品「新川川」(2010)、東北のエネルギー作品：2018年「House M」JIA環境建築実住住宅部門優秀賞受賞

会場：オンライン/ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)/JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：C P D認定プログラム(2単位)

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください  
申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※CPD単位付に必要なCPDを申込フォームに必ず記入してください

申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※注意事項※  
・ミーティング参加名は申込書としてメールにて下さい。  
例) 山田氏(〒150-0001) 〇〇〇〇  
・セミナーは録音しますので予めご了承下さい。  
・参加費ののり、録音は固くお断り致します。  
・録音でのご参加はご遠慮下さい。主催者の当日の都合はできません。  
・お申込み後、後日返信をさせていただきます。  
・※録音：8/17(木)20時以降  
当日17:30~接続できます。直前に申し込まないよう早めの接続をお願いします。

### 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっていきます。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出さうではありませんか。JIA-SDG建築フォーラムに引き続いて、この夏「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様のご力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正浩

第5回  
心地よさのものさし/性能と意匠の両立  
施工者との協働と標準化による環境対策技術の洗練

2021年8月19日(木) 18:00-20:00

伊礼智 Satohi Irei (有)伊礼智設計 代表

1959年 沖縄生まれ  
1982年 環境工学専攻工学部建築学専攻卒業 卒業  
1986年 伊礼智設計事務所 代表取締役 建築士  
1996年 伊礼智設計事務所 代表取締役 建築士  
2016年~東京大学大学院工学部建築学専攻 非常勤講師

本シリーズ企画に先立ちJIA会員アンケート回答においても、カーボンニュートラル化の取組みが喫緊の課題であるという認識が共通しています。一方、建築家としての責任ある住宅設計の観点からは小さなものではありますが、脱炭素社会に向けて注力している設計手法は多岐あります。地域性・素材・気象・生活スタイルほか、住まい手の要請に広範な多様な設計手法は、脱炭素社会にも今後求められるものと、伊礼氏の「Work」や「OM」(オーダーメイド)との協働で目指している標準化は、その両方を実現し得る一つの未来であると考えています。意匠・性能の両立、バリエーションをこぞして見せる本建築家の意匠を大切にする高性能化や、太陽熱利用中心の再生エネルギー利用のお話、第1回講師の山田貴宏氏が提案する生活スタイルの多様化に沿った設計手法と並び、脱炭素への積極的な建築家の関与として、是非とも伺いたい内容です。

会場：オンライン/ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)/JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：C P D認定プログラム(2単位)

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください  
申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※CPD単位付に必要なCPDを申込フォームに必ず記入してください

申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※注意事項※  
・ミーティング参加名は申込書としてメールにて下さい。  
例) 山田氏(〒150-0001) 〇〇〇〇  
・セミナーは録音しますので予めご了承下さい。  
・参加費ののり、録音は固くお断り致します。  
・録音でのご参加はご遠慮下さい。主催者の当日の都合はできません。  
・お申込み後、後日返信をさせていただきます。  
・※録音：8/17(木)20時以降  
当日17:30~接続できます。直前に申し込まないよう早めの接続をお願いします。

### 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっていきます。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出さうではありませんか。JIA-SDG建築フォーラムに引き続いて、この夏「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様のご力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正浩

第6回  
カーボンニュートラルに必要とされる  
建築分野の対応

2021年8月26日(木) 18:00-20:00

田辺 新一 Shinichi Tanabe 早稲田大学大学院工学部建築学専攻 教授

1958年 福岡生まれ  
1982年 早稲田大学工学部建築学専攻卒業、同大学大学院修了  
1984年 藤沢市 建築士  
1992年 カリフォルニア大学バークレー校 訪問研究員  
1992-1998 早稲田大学大学院工学部建築学専攻 助教授  
2001年 早稲田大学大学院工学部建築学専攻 教授

夏季6回の連続セミナーの最終回となります。夏季セミナーは住宅に焦点をあてた内容でしたが、このあと計画される秋連続セミナーは、一般建築および分譲をテーマとした内容となる予定です。田辺先生は日本建築学会会長として、また国等の委員会にも多数参加され、4月の第1回~第6回「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等」のあり方検討会(「あり方」委員会)の委員として参加されてまいりました。短期を閉じて、国のエネルギー基本計画(「長期」の長期、50年の長期)の脱炭素社会に向けた政府の「あり方」委員会の委員として参加されてまいりました。昨年10月の脱炭素社会宣言以後の脱炭素の具体的な進捗について、1年を経てもなお、建築関係全体に広がっているとは言えない状況です。その対応について、資源や自然エネルギーに恵まれているとは言えない我が国がどのようにするかが問われています。我が国におけるエネルギー基本政策の方向性を探りたいような方向性をお話したいと思います。

会場：オンライン/ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)/JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：C P D認定プログラム(2単位)

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください  
申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※CPD単位付に必要なCPDを申込フォームに必ず記入してください

申込URL：https://forms.gle/pCRq4YARz8RtuDq76  
※過去のご申込みの方は重複の必要はありません

申込QRコード

※注意事項※  
・ミーティング参加名は申込書としてメールにて下さい。  
例) 山田氏(〒150-0001) 〇〇〇〇  
・セミナーは録音しますので予めご了承下さい。  
・参加費ののり、録音は固くお断り致します。  
・録音でのご参加はご遠慮下さい。主催者の当日の都合はできません。  
・お申込み後、後日返信をさせていただきます。  
・※録音：8/17(木)20時以降  
当日17:30~接続できます。直前に申し込まないよう早めの接続をお願いします。

The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

JIA2050  
カーボン  
ニュート  
ラル連続  
セミナー  
第1期  
全6回



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。

JIA会長 六鹿正治

第1回

## 今は2021年夏 立ち止まって考えるのはこれが最後 さあ未来に向けて

2021年7月8日(木) 18:00-20:00



**前 真之 Masayuki Mae**  
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻  
准教授

1998年 東京大学工学部建築学科卒業  
2003年 東京大学大学院博士課程修了  
2004年 独立行政法人建築研究所研究員  
2004年 東京大学大学院 客員助教授  
2008年 現職

前氏は2/24に河野太郎規制改革担当大臣主宰の第5回再エネ等に関する規制等の総点検タスクフォースにおいて科学的な分析とともに、行政や法律の現状、多様な建築関係者の実情の調査を踏まえて、具体的で明快な主張を展開されました。4~6月に国交省・経産省・環境省合同の検討会が開催され、6/9には政府が「地域脱炭素ロードマップ」を公表し、2050年脱炭素の目標達成に向け、現在も多様な議論が展開されています。緊急連続セミナーの初回は前氏の提案をじっくり伺い脱炭素に臨む行動についての議論を深めたいと思います。

会場：オンライン／ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
CPD：CPD認定プログラム (2単位)  
CPD単位付与に必要なCPDIDを申し込みフォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込ください  
申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去の回で申込済の方は重複の必要はありません

申込QRコード



### <注意事項>

- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例：山田花子/漢字等日本語
- ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
- ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
- ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

### <接続>

当日17：30~接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

次回▶第2回：7月15日(木) 18:00-20:00

「多様な方法論で実現する環境建築—脱炭素社会を目指して」

講師：山田貴宏氏(ビオフォルム環境デザイン室 代表)

・第3回：7/22(木/海の日)16:00-18:00

「なぜ住宅への太陽光発電義務づけが重要なのか〜京都府条例から学ぶ」

講師：諸富徹氏 (京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂教授)

・第4回：8/12(木)予定(日程・講師ともに検討中)

・第5回：8/19(木)予定(同上)

・第6回：8/26(木)予定(同上)



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画・実施協力：JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人 日本建築家協会 本部事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail：cns@jia.or.jp HP：http://www.jia.or.jp



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。

JIA会長 六鹿正治

## 第2回

## 多様な方法論で実現する環境建築 脱炭素社会を目指して

### 2021年7月15日(木) 18:00-20:00



#### 山田 貴宏 Takahiro Yamada

一級建築士事務所 BioForum 環境デザイン室 代表

1990年 早稲田大学理工学部建築学科卒業

1992年 同 都市環境工学専修 修了

1992年 清水建設株式会社

1999年 長谷川敬アトリエ

2005年 BioForum 環境デザイン室 代表

山田氏は「里山長屋」で第17回(2016年度)JIA環境建築賞住宅部門優秀賞を受賞されました。伝統的構法/土壁の長屋住宅を住民参加で作り、都市近郊の里山における農的暮らしの提案を行った事例です。微気候を利用した建築として、竣工後も環境研究者と計測を実践すると共に、設計活動全体を通じて建築の生涯エネルギー、生涯CO2排出量の削減に留意、また住まい手に環境負荷の少ないライフスタイルを推奨、コミュニティのある暮らしの提案を行っておられます。伝統的構法などからアプローチする山田氏の多様な方法論について伺い、脱炭素社会に臨む行動についての議論を深めたいと思います。

会場 : オンライン / ZOOM Webinar  
定員 : 1000名(PC1000台) / JIA会員・会員外とも可  
参加費 : 無料(複数名同室視聴可)  
CPD : CPD認定プログラム (2単位)  
CPD単位付与に必要なCPDIDを申し込みフォームに必ず記入してください

申込QRコード



申込方法 : URLをクリック又はQRコードからお申込ください

申込URL : <https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去の回で申込済の方は重複の必要はありません

#### <注意事項>

- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例: 山田花子/漢字等日本語
- ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
- ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
- ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

#### <接続>

当日17:30~接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

次回▶第3回: 7月22日(木/海の日)16:00-18:00

「なぜ住宅への太陽光発電義務づけが重要なのか~京都府条例から学ぶ」

講師: 諸富徹氏(京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂教授)

- ・第1回: 7/8(木)終了 / 講師: 前真之氏
- ・第4回: 8/12(木)予定(日程・講師ともに検討中)
- ・第5回: 8/19(木)予定(同上)
- ・第6回: 8/26(木)予定(同上)



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催: 公益社団法人 日本建築家協会 / 企画・実施協力: JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人 日本建築家協会 本部事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail: [cns@jia.or.jp](mailto:cns@jia.or.jp) HP: <http://www.jia.or.jp>



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。

JIA会長 六鹿正治

## 第3回

## なぜ住宅への太陽光発電義務づけが重要なのか 京都府条例から学ぶ

2021年7月22日 (木・祝日) 16:00-18:00

### 諸富 徹 Toru Morotomi

京都大学大学院経済学研究科 / 地球環境学堂 教授



1993年 同志社大学経済学部卒業  
1998年 京都大学大学院経済学研究科  
博士課程修了  
1998年 横浜国立大学経済学部 助教授  
2002年 京都大学大学院経済学研究科  
助教授  
2006年 同公共政策大学院 助教授  
2008年 同大学院経済学研究科 准教授  
2010年 現職

JIA会員アンケート等で最も抵抗感の大きい「太陽光発電 設置義務化」。「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」委員の諸富氏は、定量的な研究成果により住宅への設置義務化の必要性を主張されています。併せて、「消費者が初期費用を負担する必要がないオンサイトPPA(自家消費型第三者所有モデル)」、「分散型エネルギーシステムを情報通信で結んでコミュニティでエネルギー生産/消費の最適化を図るマネージメントシステム」等への賛同を表明されています。賛否を問わずじっくりとお話を伺う機会を設け、議論を深めたいと思います。再エネ設備設置義務化の取組みを開始した京都府条例のお話も伺うことができます。

会 場：オンライン / ZOOM Webinar  
定 員：1000名(PC1000台) / JIA会員・会員外とも可  
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去の回で申込済の方は重複の必要はありません

申込QRコード



#### <注意事項>

- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例：山田花子/漢字等日本語
- ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
- ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
- ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

#### <接続>

当日17:30~接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

次回▶第4回：8/12(木)18:00-20:00

「(仮題)地域からの発信～地域の特性に即した脱炭素への取組み」

講師：竹内昌義氏 (東北芸術工科大学教授)

新井優氏 (新井建築工房+設計同人NEXT代表)

- ・第1回：7/8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第5回：8/19(木)予定(日程・講師ともに検討中)
- ・第6回：8/26(木)予定(同上)



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会 / 企画・実施協力：JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人 日本建築家協会 本部 事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail: [cns@jia.or.jp](mailto:cns@jia.or.jp) HP: <http://www.jia.or.jp>



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正治

## 第4回 2050年カーボンニュートラルに向けて 地域からの発信／意欲的な取組や事例を通して

### 2021年8月12日(木) 18:00-20:00



#### 竹内昌義 Masayoshi Takeuchi

東北芸術工科大学デザイン工学部  
建築・環境デザイン学科 教授  
1988年 東京工業大学大学院修士課程修了  
2001年 現大学助教授、2008年～教授  
著書：「図解エコハウス」他  
作品：山形エコハウス、最上の老人ホーム他  
受賞：2013年「House\_M」JIA環境建築賞最優秀賞、東北建築賞他

国交省、経産省、環境省の3省により設置された「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」の有識者委員竹内氏の提言資料は公開されています。竹内氏はご自身の提言についてJIA会員に意見を求め、その意見収集と同時期に本セミナーの企画は進められました。本年4月から開催された上記検討会で注目されたのは、鳥取県をはじめとする「脱炭素について独自に率先して実行している地域の取組み」です。自主的に国以上の目標を立てて達成しようとしている事例は現況において希望の道しるべです。今回本セミナーでは、長野県に注目しました。同県は6月に「長野ゼロカーボン戦略」を制定し、県独自にNDC（パリ協定に基づく温室効果ガス排出削減目標）60%を目指すと言いました。JIA長野地域会の新井氏は県の方針に沿うプロポーザルに応募し、木造公共建築の設計を受注されました。新井氏に、県内のZEB・ZEHの取組みの実状を紹介して頂きます。また、竹内氏には上記検討会を経ての脱炭素に向けてのお考えや、山形県・長野県等の地域の取組みに詳しい立場から「地域への期待／地域から始まる脱炭素の流れ」についてお話を展開して頂きます。



#### 新井優 Masaru Arai

新井建築工房+設計同人NEXT代表  
JIA関東甲信越支部長野地域会「JIA長野県クラブ」代表  
1976年 飯田市(株)桂建築設計事務所  
1984年 飯田市(有)みずゞ設計  
1996年 新井建築工房+設計同人NEXT設立  
受賞：2011年「りんご並木のエコハウス」JIA環境建築賞優秀賞他。2020年長野県林業大学校男子寮棟改築事業 公募型プロポーザル1位

会場：オンライン／ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
CPD：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去のおで申込済の方は重複の必要はありません

<注意事項>・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例：山田花子/漢字等日本語  
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。  
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。  
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。  
< 接 続 > 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード



次回▶第5回：2021年8月19日(木)18：00-20：00  
講師：伊礼智(いれいさとし)氏

- ・第1回：7/8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木)講師：諸富徹氏
- ・第6回：8/26(木)講師：田辺新一氏



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画・実施協力：JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人日本建築家協会 本部事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail：cns@jia.or.jp HP：http://www.jia.or.jp



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正治

第5回

## 心地よさのものさし／性能と意匠の両立 施工者との協働と標準化による環境対策技術の洗練

### 2021年8月19日 (木) 18:00-20:00

本シリーズ企画に先立つJIA会員アンケート回答においても、カーボンニュートラル化への取組みが喫緊の課題であるという認識は共通しています。一方、建築家設計の住宅が全国の住宅供給に占める割合は小さなものとは言え、脱炭素に向けて注力している設計手法は多数あります。地域性・景観・微気象・生活スタイルほか、住まい手の要望に応える多様な設計手法は、脱炭素を前提に今後も残り続けることへの期待が多くありました。ハウスメーカー、ビルダーの住宅と建築家設計の住宅が対極にあるとすると、伊礼氏の「i-Works」や「OMソーラーの工務店」との協働で目指している標準化は、その中間にあり住宅供給の一つの未来であると思われました。意匠と性能の洗練、バランス。そこで試されている木製建具の意匠を大切にす高性能化や、太陽熱利用中心の再生可能エネルギー利用のお話は、第2回講師の山田貴宏氏が模索する生活スタイルの多様化に沿う設計手法と並び、脱炭素への積極的な建築家の関与として、是非とも伺いたい内容です。



#### 伊礼智 Satoshi Irei (有)伊礼智設計室 代表

1959年 沖縄県生まれ  
1982年 琉球大学理工学部建設工学科計画研究室 卒業  
1985年 東京芸術大学美術学部建築科 大学院修了  
丸谷博男+エーアンドエーを経て  
1996年 伊礼智設計室開設  
2016年～東京芸術大学美術学部建築科 非常勤講師

主な著書：

2014年 伊礼智の「小さな家」70のレシピ  
(エクスナレッジ)  
2020年 伊礼智の住宅設計作法 iii 心地よさのものさし  
(新建新聞社)

会場：オンライン／ZOOM Webinar  
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可  
参加費：無料(複数名同室視聴可)  
CPD：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去の回で申込済の方は重複の必要はありません

申込QRコード



<注意事項> ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例：山田花子/漢字等日本語  
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。  
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。  
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。  
< 接 続 > 当日17:30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

次回▶第6回：8/26(木)18:00-20:00  
講師：田辺新一氏

・第1回：7/8(木) 講師：前真之氏  
・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏  
・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏  
・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画・実施協力：JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人 日本建築家協会 本部事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail：[cns@jia.or.jp](mailto:cns@jia.or.jp) HP：<http://www.jia.or.jp>



# 2050カーボンニュートラル連続セミナー

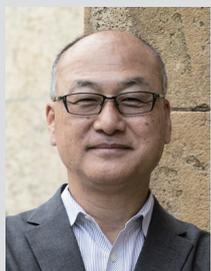
2050年カーボンニュートラル実現に向けて建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年10月に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。JIA-SDGs建築フォーラムに引き続いて、この夏を「2050年カーボンニュートラル」に向けた実践について、JIA会員の皆様の総力を結集し、集中的に考える期間にしましょう。JIA会長 六鹿正治

## 第6回 カーボンニュートラルに必要とされる 建築分野の対応

### 2021年8月26日 (木) 18:00-20:00

夏季6回の連続セミナーの最終回となります。夏季セミナーは住宅に焦点をあてた内容でしたが、このあと計画される秋季連続セミナーは、一般建築および全般をテーマとした内容となる予定です。田辺先生は日本建築学会会長として、また国等の委員会にも多数参加され、4月からの第1回～第6回「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」では「あり方・進め方」のまとめ作成に座長として尽力されました。時期を同じくして、国のエネルギー基本計画（素案）の発表、8/9のIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の発表などがあり、住宅に限らない全般のお話を田辺先生から伺います。昨年10月の国の脱炭素社会宣言以後の次元の異なる大きな変化について、1年を経てもなお、建築関係者全体に伝わっているとは言えない状況です。その対応について、資源や自然エネルギーに恵まれているとは言えない我が国がどのようにするのが問われています。我が国におけるエネルギー革命の進め方、誰も取り残されないような進め方について最前線からのお話を伺います。



#### 田辺新一 Shinichi Tanabe 早稲田大学創造理工学部建築学科 教授

1958年 福岡県生まれ  
1982年 早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学大学院修了  
1984-86年 デンマーク工科大学研究員  
1992-93年 カリフォルニア大学バークレー校訪問研究員  
1992-99年 お茶の水女子大学助教授  
1999年 早稲田大学理工学部建築学科助教授  
2001年 同大学教授

<役職> 日本建築学会会長、日本学術会議  
会員、経済産業省資源エネルギー庁基本政策  
分科会委員、同省エネルギー小委員会委  
員長、脱炭素社会に向けた住宅・建築物の  
省エネ対策等のあり方検討会座長。  
<著書> 「住環境再考」「ゼロ・エネルギー  
ハウス」(萌文社) など

会 場：オンライン／ZOOM Webinar  
定 員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可  
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)  
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/pcRg4YARz8RtuDq76>

※過去の回で申込済の方は重複の必要はありません

<注意事項> ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。  
例：山田花子/漢字等日本語  
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。  
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。  
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。  
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

<接 続 > 当日17:30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード



<これまでの開催>

- ・第1回：7/8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏



The Japan Institute of Architects  
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画・実施協力：JIA環境会議  
<問い合わせ先> 公益社団法人 日本建築家協会 本部事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
E-Mail：[cns@jia.or.jp](mailto:cns@jia.or.jp) HP：<http://www.jia.or.jp>